

タイトル「人々が安全に暮らすための道路の修復について」  
多那小学校 6年 氏名 小林 杏珠

私の両親は、農業を営んでいます。心を込めて育てた野菜を、毎日出荷しています。ある時、「野菜を運ぶのに、道が悪くて荷崩れしてしまう。」と父がつぶやいたので、私は地域の道路を確認してみました。すると、道路に穴があいていたり段差があつたりするか所が多いことに気付きました。応急処置はしてあるものの穴やひびが大きくなっている所もあり、安全を確保するためにも修復工事が必要だと考えます。道路の穴やひびがなくなければ、農家の人たちだけではなく、多くの人たちが安心して快適に過ごせるようになると思します。

また、白線が薄くなっている部分があることにも気付きました。インターネットで白線の役割を調べたら、車線の区分、進行方向のガイド、危険区域の警告などの役割があることが分かりました。大切な役割がある白線を引き直すことで事故を防ぎ、安全に生活することができるます。特に、私たち子どももも安全に通れるようになるので、白線を引き直す方が良いと思います。

今後、沼田市が道路の修復をどのように行つていいくのか、教えてください。